

1. 定性評価・コメント

当ファンドではファミリーファンド方式が採られており、実質的な運用は「日本アクティブ債券マザーファンド」で行われていますので、以下の運用プロセス、運用体制は主として同マザーファンドを評価対象とします。

総 合 評 価

Aa⁺

「運用方針」はおおむね明確です。運用管理費用が目標超過収益率を下回る水準となったことから、2023年9月基準より運用方針レイティングを☆☆☆に引き上げました。
「運用プロセス」は継続性、妥当性を有しています。足元の運用実績は改善傾向にありますが、長期でみたプロセスの有効性は十分に確認できません。
「運用体制」は運用責任者の経験、担当ファンドへの専念度合い、運用メンバーの安定性・バックアップ体制等を含めて問題はありません。
「組織・管理体制」は運用と管理が明確に分離され、牽制機能が十分に働く体制となっています。「ディスクロージャー」はおおむね評価できますが、一部情報の記載が望まれます。「企業基盤」に関して、当社は強固な経営基盤を有し、財務・業務基盤も極めて安定しています。
足元の運用実績が改善傾向にあることから、2024年3月基準より総合レイティングをAa+に引き上げました。

運 用 方 針

★★★★

わが国の公社債を主要投資対象とし、NOMURA-BPI(総合)を中長期的に上回る投資成果を目指すファンドです。目標超過収益率は、運用管理費用控除前で年率0.5%、許容アクティブリスクは同1.3%以下を想定しています。
超過収益の源泉は、残存期間配分(イールドカーブ戦略)、債券種別配分(セクター戦略)ならびに銘柄選択に求めますが、その割合は特に想定されていません。なお、デュレーションは原則ベンチマークと同程度に維持する方針です。
運用方針はベンチマーク、それに対するリスク・リターン目標が設定されていることからおおむね明確です。しかしながら、運用管理費用が目標超過収益率を上回る水準にあったことから、運用方針レイティングを☆☆に留めていました。2023年10月に運用管理費用(年率、税抜)が0.396%に引き下げられたため、同年9月基準より運用方針レイティングを☆☆☆に引き上げました。

運 用 プ ロ セ ス

★★

投資環境判断会議では、経済調査部のエコノミストによるファンダメンタルズの調査・分析や、各運用チームの市場分析等をふまえて投資環境の判断を行い、今後6ヵ月・1年の資産別の期待収益率およびリスクを予測します。
国内クレジット委員会では、クレジット調査部のクレジットアナリストとファンドマネジャーが、セクター見通しと事業債の個別銘柄の投資価値を評価し、事業債の業種および個別銘柄毎にベンチマークに対するアクティブリスクの方向性を判断します。
債券戦略委員会では、それらの会議の判断を基に、全ファンド共通のデュレーションなど各種の基本運用戦略を策定します。
さらに、国内債券の運用メンバーによる日本債券戦略委員会において、国内債券市場固有の要因を考慮し、イールドカーブ戦略における「短中期」「長期」「超長期」各セクターのリスク量など、細部における戦略を決定します。
最終的なイールドカーブ戦略、セクター戦略、個別銘柄選択は、これらの組織的に策定された各種の戦略をベースに運用責任者が決定します。
運用プロセスは、運用方針との整合性が確認でき妥当性があります。また、投資意思決定は運用責任者の定性判断に依拠している部分がありますが、組織的な議論を基に戦略や銘柄の選定を実施しており、プロセスの継続性は相応に確保されています。足元の運用実績は改善傾向にありますが、長期でみたプロセスの有効性は十分に確認できません。

運 用 体 制

★★★★

運用責任者は豊富な債券運用経験を有しています。また、担当ファンド数も少なく運用に専念できる環境にあります。
運用責任者交代時等は、同グループのメンバーに引き継ぐことになっており、バックアップ体制に特段の問題はありません。
リサーチ体制は経験豊富なメンバーが複数在籍しており、特段問題はないと考えます。

組織・管理体制
(ガバナンス)

★★★★

コンプライアンスは所管部署で日々チェックされます。結果は所定の会議に毎月報告され、違反事項は同会議で審議されます。リスク管理項目は所管部署で日々モニターされます。規制に抵触した場合は運用部門に是正要請が行われ、結果は所定の会議に毎月報告されます。パフォーマンスは所管部署が月次で評価し、結果を毎月所定の会議に報告の上、運用部門にフィードバックします。改善を要する場合には、同会議から改善要請が行われます。
所管部署はいずれも明確で、管理項目、チェック・報告頻度も十分です。売買執行部門と運用部門は分離され、それらを管理する部門も両部門から独立しています。他の独立部門による監査も行われており、牽制機能が働いています。

ディスクロージャー

★★

目論見書には、ベンチマーク、投資対象、投資比率などの運用方針が記載され運用リスクの説明もありますが、ベンチマークを上回ることを目標とする旨の明記、運用プロセスの説明に一段の工夫が欲しいところです。
運用報告書には、当ファンドおよびベンチマークの収益率、具体的な投資行動とそれが超過収益へ与えた影響について説明があり、充実した内容です。月報には、当ファンドとベンチマークの収益率比較、ポートフォリオの概要や投資行動が記載されており、十分な内容と言えます。

企 業 基 盤

★★★★

当社は野村ホールディングスの100%子会社として強固な経営基盤を有しています。また、極めて安定した財務基盤、業務基盤のもとに規律のある経営が行われています。

運 用 実 績

★★

直近5年間(2019年4月～2024年3月)の累積超過収益率は-0.24%(年率-0.05%)と、運用実績はベンチマークを下回っており、同期間のインフォメーションレシオは-0.16となっています。
一方、直近6ヵ月(2023年10月～2024年3月)の累積超過収益率は0.14%とベンチマークを上回っています。主に事業債のオーバーウェイトがプラスに寄与しました。

(注)運用実績の分析は運用管理費用控除後ベースで実施しています。

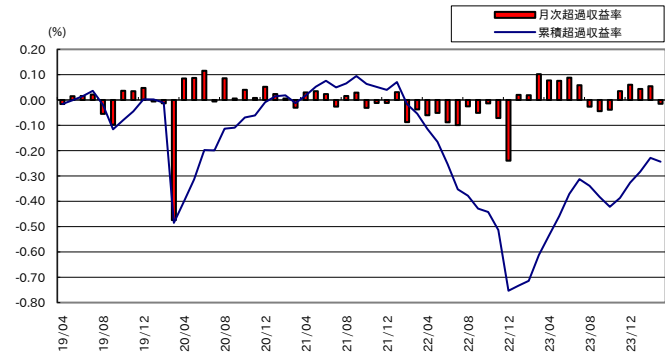
2. ファンド概要・運用実績等

ファンドの概要

運用	野村アセットマネジメント		
投資助言/一任	—		
MAB分類	国内債券(アクティブ)		
設定日	2002年1月25日	純資産額	141億円
基準価額	12,738円	運用管理費用(注)	0.4356%
分配金	直近1年:5円	設定来累計:350円	

(注)運用管理費用は、年率、税込み(10%)表示です。

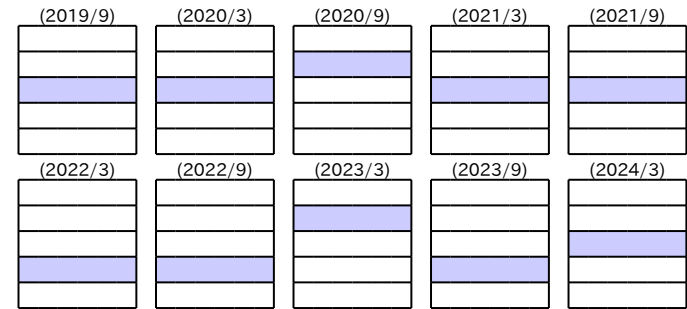
月次／累積超過収益率の推移



ファンドの収益率

	当ファンド (%)	分類平均 (%)	ランキング		ベンチマーク (%)
			当ファンド	分類内ファンド数	
3ヵ月	-0.43	-0.22	43	80	-0.51
6ヵ月	0.51	0.58	41	79	0.37
1年	-1.84	-0.75	44	75	-2.20
3年	-5.21	-3.91	33	62	-4.98
5年	-6.06	-4.63	29	56	-5.82

トレンド推移



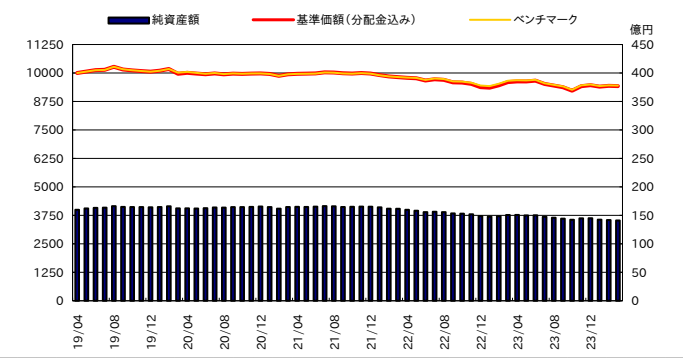
同分類に属するファンドの6ヵ月間の収益率を比較、上位から20%ずつ5段階にランキングし、その6ヵ月ごとの推移を示したものです。

残存期間別組入れ比率・平均デュレーション

残存期間	組入れ比率	(単位: %)	
		ベンチマークとの差	
1年未満	2.13	2.13	
1年以上3年未満	10.99	-9.78	
3年以上7年未満	13.35	-14.50	
7年以上11年未満	16.61	-2.43	
11年以上	54.37	22.03	
平均デュレーション(年)	8.88	-0.02	

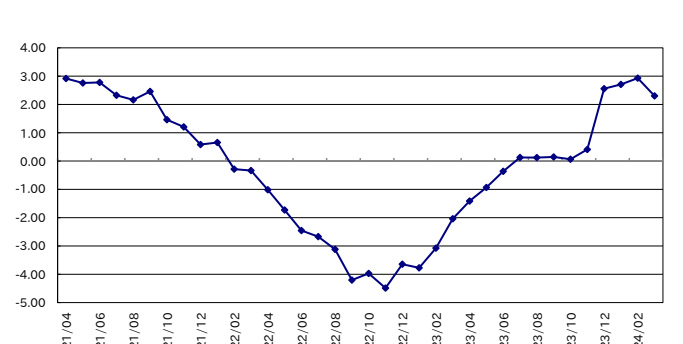
*組入れ比率は対純資産総額比です(ファミリーファンド方式の場合は対マザーファンド純資産総額比)。

基準価額・純資産額推移

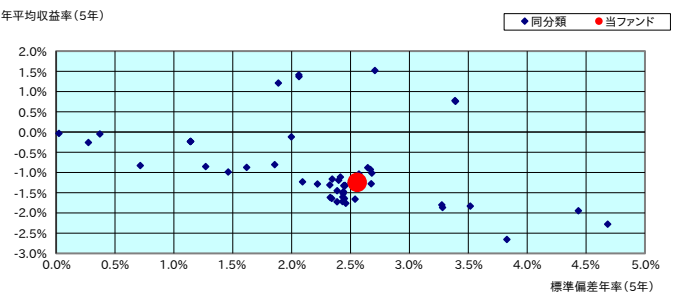


*基準価額は左目盛り、純資産額は右目盛り。
*基準価額およびベンチマークはファンド設定期間が5年未満のものは設定月末時、5年超のものは基準日より5年前の時点を10,000とした指数値にて表記しています。

1年インフォメーションレシオの推移



効率性(直近5年)



収益率のぶれ(標準偏差)をできるだけ少なくして高い収益率をあげたファンドが、運用効率性の高いファンドとされています。

種別構成比率

種別	構成比率	(単位: %)	
		ベンチマークとの差	
国債	55.86	-29.01	
地方債	0.00	-5.95	
政府保証債	0.00	-1.27	
金融債	0.00	-0.31	
事業債	35.99	29.97	
円建外債	1.42	1.13	
MBS	0.00	-1.24	
その他	4.19	4.13	

*構成比率は対純資産総額比です(ファミリーファンド方式の場合は対マザーファンド純資産総額比)。

●本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
●本レポートは、投資信託委託業者等から入手した情報およびMABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の真実性・正確性をMABIにて調査・確認したものではなく保証するものではありません。
●MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
●本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の業績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
●本レポートは、情報提供を目的としたものであり、本投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
●投資信託はリスクを含む商品であり、したがって元本保証はありません。

●本レポートは、コンサルティングサービス契約に基づきMABが報酬を得て作成し、使用許諾を与えたものです。
●本レポート中の運用実績の分析は、原則として運用管理費用控除後、配当込みベースで実施していることや、ベンチマーク算出方法(配当・為替)の違い等から、投資信託委託業者等の分析とは異なることがあります。
●(累積)超過収益率のデータはMAB独自の計算によるものであり、ファンドとベンチマーク収益率の差とは一致しないことがあります。
●2.ファンド概要・運用実績等の数値は、基準日当日のデータを使用して算出するほか、基準日前日のデータを使用して算出する場合があります。
●NOMURA-BPI(総合)に関する著作権等知的所有権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。